

# 季節風

2016. 5. 13

NO.7

山鹿市立鹿北中学校

文責：郡 一路

## 体育大会結団式〈限界突破〉

十二日（木）の午後、体育大会に向けての結団式を上原体育副委員長の司会のもと行いました。

各団の団長（青団は黒田君、赤団は中島君）の紹介と団旗の授与を行い、北原生徒会長、山本体育委員長から決意発表がありました。そして、田中副会長から、今年の大会テーマが発表されました。

### 【大会テーマ】

#### 限界突破

く輝く汗 みなぎる力

燃えろ 清流の人々

その後の練習でも、みんなの気合いが伝わってきて、グラウンドいっぱい大きな声が響いていました。

特に、三年生の「熱い思い」が、様々な場面で感じられ



体育大会を成功させようと、リーダーシップを発揮している姿は、すばらしく、とても頼もしく感じました。暑さやきつさを乗り越えたその先に、本当の感動があります。生徒全員の頑張りで最高の体育大会をつくってくださることを期待しています。

## 鹿北小・中学生交流給食

鹿北小と鹿北中は隣同士に位置する学校です。雨が降ってもお互いのランチルームを通れば、ぬれることなく移動できます。この「強み」を生かして、今年も交流給食を行っています。

11日（水）は、小学6年生が中学校のランチルームに、中学2年生が小学校のランチルームで給食を食べ、交流しました。

このような交流ができるのも、鹿北小・中学校の特色の1つです。



## 女子バスケットボール部 〈悔しさをバネに〉

優勝大会の反省 上原 樹里

私は、今回の大会を終えて、一言で言うと「悔しい」です。大会前に、みんなでいろいろ話し合って改善してきたつもりでしたが、まだまだ足りないところがありました。まずは、チームの団結力を強くしていきたいです。

また、プレーでは、スクリーンアウトができていなかったせいで、相手にボールを渡してしまうことが多かったのだ、そこを改善していきたいです。残りの大会は、中体連しかない中で、中体連に向けて練習を頑張っていきます。

バスケット  
ファールもらって  
ツッシュョット  
静まりかえった  
体育館

この短歌は、一年生の木下美鈴さんの作品です。試合の情景や、この場面での選手も、体育館にいる人も、一点に集中しているようすが、緊張感とともに伝わってきます。

これは、部活動をしているからこそ、経験できる場面です。こういう経験こそが人を強くし、成長させてくれるものだと思います。



## 〈読み聞かせ〉

十三日（金）、マザーグースのみなさんに、読み聞かせを行っていただきました。絵本はとても温かい気持ちになります。「そろりまめのベッド」では実際にそろりまめを持ってきてくださいました。とてもふわふわしていて、みんなビックリしていました。